

助成事業

学校給食に関する研究を推進する関係団体への助成をしています。

大分県学校給食会団体助成金事業

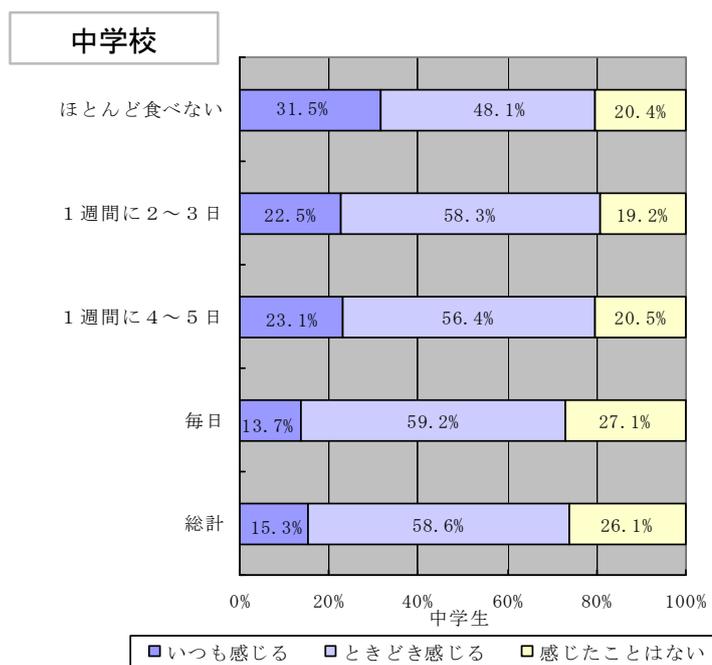
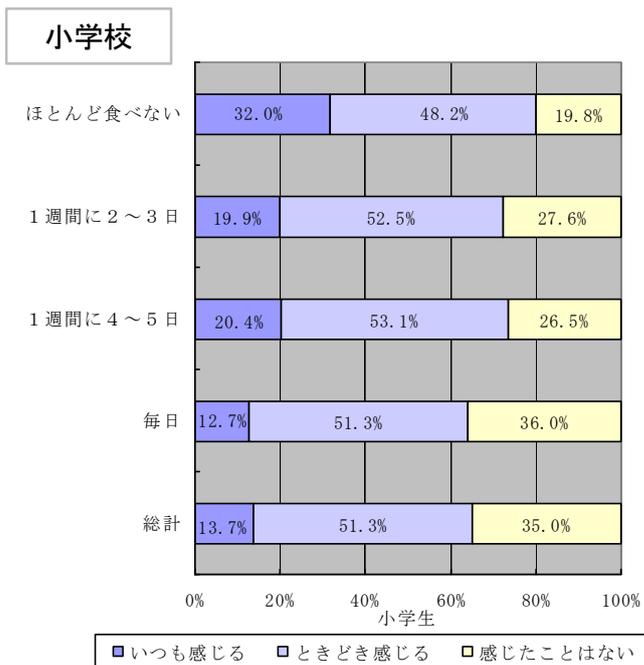
(団体名)

大分県学校栄養士研究会

	助成対象事業	対象地区
1	学校給食指導に関する調査又は研究等の事業	中津市・大分市・由布市・日田、玖珠・竹田市・別府市・姫島、国東・豊後大野市
2	衛生管理の推進に関する調査又は研究等の事業	大分市・県立支援学校・由布市
3	学校給食用物資に関する調査又は研究等の事業	豊後大野市
4	学校給食運営に関する調査又は研究等の事業	平成21年度「児童・生徒の食生活実態調査」※
5	その他、県給食会理事長が別に定める事業	

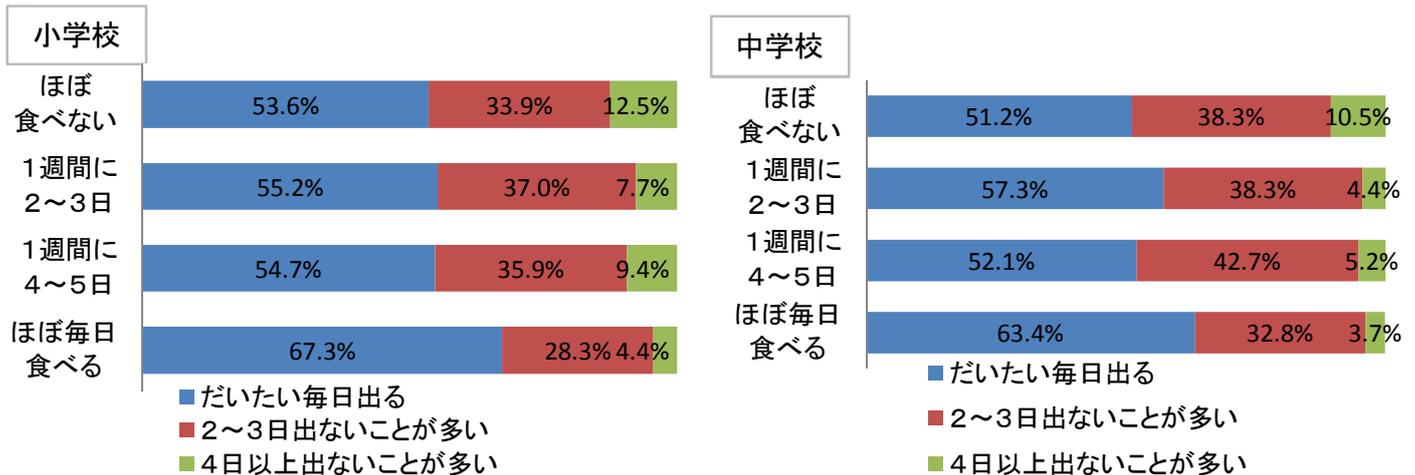
朝ごはんと不定愁訴 「朝ごはんの摂取状況」と「イライラする」の関係

※平成21年度
「児童・生徒の食生活実態調査」
一部抜粋



朝ごはんを「食べない」割合が多いほど、不定愁訴(体がだるい・頭が痛い・目が疲れる・イライラする・お腹が痛い)の全ての項目において、「いつも感じる」児童・生徒の割合が高い。朝ごはんの摂取状況と不定愁訴に関連がみられることから、朝ごはんを食べることの大切さを引き続き伝えていく必要がある。

「朝ごはんの摂取状況」と「排便」の関係



「ほとんど毎日朝ごはんを食べる」児童・生徒は、排便が「だいたい毎日出る」割合が高い。「ほとんど食べない」児童・生徒は、「4日以上出不い」割合が高い。「朝ごはんの摂取状況」と「排便」には深い関係があることがわかる。

大分県学校給食会指定研究協力校

(目的)

子どもたちが自分で自分の健康を守り、健全で豊かな食生活を送るための能力を育てるため、学校給食をはじめとする食に関する指導について研究する。

(学校名)

平成20、21年度
佐伯市立下堅田小学校

(研究主題)

自分の健康に関心を持ち、心豊かにたくましく生きようとする子どもの育成。

(研究の内容)

- ① 教育課程の見直し、工夫
 - ・健康教育にかかわる全体計画、年間計画の作成
 - ・各教科での学習内容と学級活動での内容の見直しと組み立て
 - ・実態調査とめざす子ども像の設定
- ② 授業の工夫、改善
 - ・生活科・総合的な学習の時間を中心に据えた取り組みの計画
 - ・他教科とかかわって横断的に展開していくための工夫
 - ・体験活動を大切に学習の組み立て(栽培活動を通して)
 - ・指導案作成
- ③ 特別活動の計画と実践
 - ・全校で取り組む栽培活動と児童会活動の連携
 - ・地域人材を活かしたゲストティーチャーの活用
- ④ 家庭、地域との連携
 - ・家庭、地域への啓発とPTA専門部会との連携
 - ・健康教育、食育に関する教育講演会(1年次)や料理教室の開催

【備考】

平成22、23年度指定協力校
豊後高田市立臼野小学校